

WebClass Ver.11.10.0 リリースノート

日本データパシフィック株式会社

2021/1/27

1 概要

オンラインでの学生の様子をできる限り確認できるようにするため、学習履歴の終了時刻とテストの解答時刻の更新タイミングを改善しました。教材を終了ボタンで終了させずにブラウザを閉じたケースでも、今までよりも正確に利用時間を確認できます。

また、先生が利用目的から使い方を確認できるマニュアルを追加しました。

その他、基本的な操作性を大きく変えない範囲で扱いやすさを改善しています。

1.1 必要な環境

- WebClass ver. 11.02 以上
- PHP require 5.3 ~ 7.3
- PostgreSQL require 8.4 ~ 11.9

2 主な変更点

2.1 学習履歴の利用時間

学習履歴画面に表示される終了時刻と利用時間は、教材を終了ボタン等で終了させないままブラウザを閉じてしまうと、記録が残りませんでした。そこで、教材を利用している間に定期的に更新するようにしました。

一問一答 最終更新日: 2021/01/22 15:27 鈴木 先生(author)

種類: 一問一答

公開状況 学生成績 問題ごとの成績表示/再採点 利用状況 **学習履歴**

ユーザID
 ワイルドカード *, 任意の一字 ? で指定。
 複数の条件は or で連結。 検索

集計期間 2020年 4月 11日 から
 2021年 1月 27日まで

集計期間: 2020-04-01から2021-01-27まで の学習履歴

[* 学習履歴のダウンロード](#) 選択された履歴と成績を削除

| <input type="checkbox"/> | 氏名 ▲▼ | ユーザID ▲▼ | IPアドレス ▲▼ ホスト名 | 開始時刻 ▲▼ | 終了時刻 ▲▼ | 利用時間 ▲▼ |
|--------------------------|-------|----------|-------------------|---------------------|---------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> | 鈴木 先生 | author | 192.168.56.1 | 2021-01-27 08:38:26 | 2021-01-27 08:39:17 | 00:00:51 |
| <input type="checkbox"/> | 鈴木 先生 | author | 192.168.56.1 | 2021-01-22 15:27:56 | 2021-01-22 15:30:04 | 00:02:08 |

2.2 利用目的から確認できるユーザマニュアル

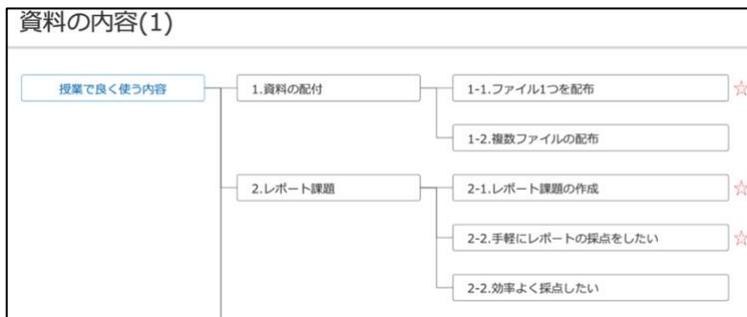
先生が利用目的から WebClass の使い方をたどることができるマニュアルを追加しました。

マニュアル

ダウンロードしたマニュアルの閲覧には PDF ビューアが必要です。

- ▶ **やりたいことから参照できるWebClassの使い方**
□ 最初にお読みください。利用頻度の高い機能と活用のヒントをまとめたマニュアルです。
- ▶ **WebClass コース管理者マニュアル**
□ コース管理者のためのマニュアルです。
- ▶ **WebClass ユーザマニュアル**
□ ユーザのためのマニュアルです。
- ▶ **WebClass ゲストユーザマニュアル**
□ ゲストユーザのためのマニュアルです。
- ▶ **e ポートフォリオ・コンテナ コース管理者マニュアル**
□ コース管理者のためのマニュアルです。
- ▶ **e ポートフォリオ・コンテナ ユーザマニュアル**
□ ユーザのためのマニュアルです。

最初の目次から、ファイルの配布やレポート課題など、やりたいことを確認します。



それぞれのトピックで、使い方とポイントを解説しています。

2-3. 効率よく採点したい(1) 個別採点とルーブリックでの採点

操作手順

1. 採点したい課題の【...】メニューから【公開状況】をクリック
2. 「レポート/記述式問題の採点」から【レポート/記述式問題の採点】リンクを選択する
3. 「検索条件」を指定して【回答を表示】ボタンをクリック
4. 採点をする

個別採点

1. 採点したい学生の【採点】をクリック
2. ウィンドウ右に表示された「採点」の「点数」に数値を入力し、【保存】をクリック

ルーブリックでの採点

1. 評価基準に沿ってチェックをつけると、自動的に点数が計算される

2.3 資料のテキストに埋め込んだ URL のクリック記録

資料のページテキストに URL を書き込むと、自動的にリンクとして表示されます。このリンクを学生が開いたかどうか確認できるようにしました。

The screenshot shows the 'Edit' window for '資料 1 ページ'. The 'Text' field contains the following content:

```

URL Text
[前のページ] [次のページ]
[新しいページを追加] [削除]
[変更を保存して終了]
実行時の表示形式
目次を表示する
メニューバーを表示する
タイトル: 第1節 URL の案内
ページ番号: 1
ページ移動: 1

```

The 'Text' field contains the following text:

```

第1節 タイトル URL の案内
テキスト
https://www.php.net/manual/ja/function.preg-replace-callback.php
https://www.datapacific.co.jp/webclass/support/faq/adminFAQ_update.html

```

The 'Save' button is visible on the right side of the window.

教材一覧画面で資料教材の「・・・」のメニューから「公開状況」を開きます。つづいて、「資料内 URL のクリック履歴」のタブを開きます。

学生が URL をクリックすると、その回数と最後にクリックした日が表示されます。

The screenshot shows the 'URL Text' management page. The '資料内URLのクリック履歴' tab is selected. The table below shows the click history for the two URLs mentioned in the previous screenshot.

| 氏名 | ユーザID | https://www.datapacific.co.jp/webclass/support/faq/adminFAQ_update.html | https://www.php.net/manual/ja/function.preg-replace-callback.php |
|-------------|----------|---|--|
| test | test | 1 (2020-05-28 15:18:08) | 1 (2020-05-28 15:18:14) |
| 学生 user0001 | user0001 | | |
| 学生 user0003 | user0003 | | |

2.4 eポートフォリオ・コンテナの評価分析グラフへのリンク

学生が自分のeポートフォリオ・コンテナの画面から、評価分析グラフの画面にすぐに進めるようにリンクを追加しました。

The screenshot shows the 'eポートフォリオ・コンテナ' interface. On the left, there's a '学生一覧' (Student List) with a search box and a list of students including 'テスト (addtest3) (0)', '鈴木 先生 (suzuki1) (0)', and various '学生user0001' through '学生user0112'. On the right, the '学習成果物' (Learning Outcomes) section displays three reports with titles like '最初のレポートです。' and '内容を具体的に書き足しました。'. Each report has a '削除' (Delete) button and a timestamp '2020-03-11 16:42'. Below the reports is a '提出' (Submit) button. At the bottom, a 'ゴール' (Goal) section is partially visible.

The screenshot shows the '教師評価' (Teacher Evaluation) page. It displays '計 0 件' (Total 0 items) and a '評価分析グラフ' (Evaluation Analysis Graph) link highlighted with a red box. Below the link is a description: 'ルーブリックによる評価の状況や推移をグラフで確認することができます。' (You can check the status and trend of evaluation by rubric on the graph.)

ルーブリックを使った評価をするコンテナでは、結果をグラフで確認できます。

The screenshot shows the 'eポートフォリオ・評価分析グラフ' (e-Portfolio Evaluation Analysis Graph) page. It features a 'グラフ' (Graph) section with a legend for 'データの種類' (Data Type) and '評価の種類' (Evaluation Type). The legend includes '各評価の比較' (Compare each evaluation), '評価の移り変わり' (Change of evaluation), '自己評価' (Self-evaluation), '相互評価' (Mutual evaluation), and '教師評価' (Teacher evaluation). The graph area shows a triangular chart with axes labeled A_1, A_2, and B_1. A legend on the right indicates that blue represents '自己評価' (Self-evaluation), pink represents '相互評価' (Mutual evaluation), and orange represents '教師評価' (Teacher evaluation).

3 変更一覧

3.1 教材一覧

- 先生のアカウントでスマホから閲覧した時も、教材一覧のそれぞれの教材の「・・・」をクリックすると「設定」などの選択肢が表示され、選択できるようになりました。また「設定」画面にスマホやタブレットからアクセスした時も見やすくなるようにしました。(!2425)
- 先生のアカウントで「教材並べ替え/ラベル設定」から[新しいラベル]をクリックした時にポップアップに表示される文言をよりわかりやすくしました。(!2441)

3.2 資料

- ページ編集画面で節タイトルや説明に{{の記号を使うと編集画面を表示できなくなった問題を修正しました。(!2459)
- 資料教材を開いている間、1分ごとに自動的に学習履歴の終了時刻を更新するようになりました。(!2427)
- 制限時間が切れたとき、時間切れの画面にすぐに遷移するようになりました。(!2427)
- 編集画面の説明文を改善しました。(!2460)
- 資料教材に直接記入したURLを学生が開いたか確認するツール「資料内URLのクリック履歴」を追加しました。(!2464)

3.3 テスト・レポート・アンケート

- 設問の編集画面で、設問を削除したときに選択肢の数が削除後に遷移した設問に引き継がれてしまう問題がありました。削除した設問とは別の設問に影響が及ばないようにしました。(!2430)
- 設問編集画面に表示される、実行済みユーザーが存在することへの注意文から、学習履歴画面へジャンプできるようにしました。(!2444)
- 条件分岐を設定した教材では、回答中に前の設問に戻るとき、確認ダイアログを表示するようになりました。(!2454)
 - 条件分岐の設定された教材では回答によって進む設問が変わるため、前の設問に戻るときには今表示している設問の回答を削除します。
- 設問編集画面で問題文や解説に{{の記号を使うと編集画面を表示できなくなった問題を修正しました。(!2459)
- 設問編集画面の説明文を改善しました。(!2460)
- 教材を開きっぱなしにしている間、1分ごとに自動的に学習履歴の終了時刻を更新するようになりました。(!2427)
- `SHOW_SAVE_BUTTON_IN_QSTN_ANSWER_ALL` が有効な環境で、テストを単一表示形式にしているときに記述式問題で「回答を保存」ボタンが重なって表示される問題を修正しました。(!2477)

- 「回答を保存」したり各設問に回答するたびに、テストの最終回答時刻を更新するようにしました。(I2481)
 - 回答時刻は、各設問に対する回答時刻と、設問の回答を取りまとめる解答用紙レベルでの回答時刻とを記録しています。
 - これまでは「採点」や「終了」ボタンでテストを終えるタイミングで解答用紙レベルの回答時刻を更新していましたが、そこまで操作せずにブラウザを閉じてしまうことが多いため。
- PC のテスト・レポート・アンケートの画面で、終了したときに制限時間の残り時間表示が消えるようにしました。(I2486)

3.4 アンケート

- 「アンケート集計」にてグラフの「その他」の集計が重複してしまっている問題を修正しました。それに伴い、[その他の回答一覧]から「その他」の詳細な回答について閲覧できるようになりました。(I2408)
 - 「アンケート結果を公開」オプションを有効にして学生が閲覧できる「アンケート結果」画面でも同様の表示になります。
- 「アンケート集計」にて該当コースで回答された結果のみを集計するように修正しました。(I2423)
 - 「アンケート結果を公開」オプションを有効にして学生が閲覧できる「アンケート結果」画面でも同様の表示になります。

3.5 レポート

- タイムラインの「簡易レポートを作成」からファイル添付式だけでなく記述式のレポートも作成できるようにしました。(I2415)
- 「レポート/記述式問題の採点」画面から、記述式のレポート課題に「ブランクレコードを生成」したとき、学生の実行画面の回答欄に、区切り文字(“!#!—”)と、コメント(“このレコードは‘xxx’によって生成されました。”)が見える状態になってしまう問題が発生していたので、これを修正しました。(I2418)
- 「レポート/記述式問題の採点」画面から、記述式のレポート課題に未採点の状態(点数が空白の状態)でコメントを残し、学生で再度実行すると、学生の実行画面の回答欄に、区切り文字(“!#!—”)と、コメントが見える状態になってしまう問題が発生していたので、これを修正しました。(I2418)
- 「レポート/記述式問題の採点」画面から[採点結果の読み込み]でレポートファイルの代理提出や添削ファイルを登録するとき、ファイルの保存失敗したときに確実に画面へエラー表示し、実態のないファイルがレポートや添削ファイルとして登録されないようにしました。(I2453)
 - ファイル名に記号が含まれているなどの理由でファイルの保存に失敗することがあります。

3.6 類似レポート検知

- 「ジョブ一覧」の表示の [更新] ボタンを追加しました。処理に時間がかかったとき、結果を表示し直すのに使用します。(!2467)

3.7 問題ごとの成績表示/再採点

- 「得点の指定」による成績の絞り込み機能が、10点~90点の間の10点刻みと柔軟性に欠けていたため、任意の点数を入力して絞り込みができるようにしました。(!2432)

3.8 ユニット

- ユニット教材を利用しているとき、内容の教材を終了・開始するときや、内容の教材の学習履歴終了時刻を更新するタイミングで、ユニット教材自体の学習履歴終了時刻も更新するようにしました。(!2481)

3.9 出席

- 出席「設定 / ログの確認」画面で授業コマ作成時、出席扱いの終了時刻と遅刻扱いの開始時刻、遅刻扱いの終了時刻と欠席扱いの開始時刻が同時刻になり、どちらに分類されるのかはっきりしない問題がありましたので修正しました。（`ATD_SETTING_OPEN_FROM_NOW_OPTION = 0` の環境のみ）(!2465)
 - 修正後は、00:00に出席扱い1分の場合、出席扱い00:00-00:00、欠席扱い00:01-となります。

3.10 学習履歴

- [学習履歴のダウンロード]にて、システムオプション `USE_PROFILE_COLUMN_LIST` に対応したファイルがダウンロードできるよう修正しました。(!2443)
- [学習履歴のダウンロード]から出力する `csv` ファイルについて、画面のソート順を反映するようにしました。(!2480)
- 学習履歴の画面の「コース名簿順」列に値が反映されるように修正しました。また、「コース名簿順」でソートするときエラーにならないように修正しました。(!2480)
 - システムオプション「`USE_PROFILE_COLUMN`」が「1」であり「`USE_PROFILE_COLUMN_LIST`」に「`disp_order`」が含まれているとき、「コース名簿順」列が表示されます。

3.11 eポートフォリオ・コンテナ

- eポートフォリオ・コンテナの画面に、学生自身の「評価分析グラフ」画面に移動できるリンクを設置しました。(!2438)
- 「評価分析グラフ」画面に表示されるグラフにループリックの軸が「a, b, c, ...」と表示されていましたが、軸ラベルと気づきにくいため、「A_1, A_2, B_1, B_2, ...」という表示に直しました。(!2450)

3.12 チャット

- チャットのメッセージ投稿処理のタイムアウト時間を 60 秒に延長しました。(I2435)
- 教材を開きっぱなしにしている間、1分ごとに自動的に学習履歴の終了時刻を更新するようにしました。(I2472, I2475)

3.13 SCORM

- SCORM 教材を使用している間、1分ごとに自動的に学習履歴の終了時刻を更新するようにしました。(I2473)

3.14 LTI 連携教材

- システム管理者が用意した LTI ツールをコース管理者が教材として使用するとき、連携 URL 設定がコース管理者でできてしまう問題を修正しました。(I2461)
 - システム管理者の設定でコース管理者が個別に連携 URL を設定できるか指定できますが、許可していないときでもコース管理者の画面に設定フォームが表示されてしまっていました。

3.15 システム管理者

- お知らせ
 - システム管理者ログインで「コース管理」の「お知らせ管理」から閲覧できる「お知らせ」にて、[未読ユーザを確認する]をクリックするとエラーになってしまう問題を修正しました。(I2445)
- ユーザ管理
 - システム管理者のユーザ「登録・変更・削除」画面で、ユーザのデータ列に「利用期限」を追加しました。(I2483)
 - 利用期限が設定されたユーザは、「アカウント情報の変更」画面に期限が表示されます。
- 利用状況集計
 - システム管理者ログインでの「利用状況集計」表示で、グラフ横軸の時刻が重なって見づらい問題を解消しました。(I2452)
- ユーザの履歴データ移行
 - English モードに対応させました。(I2201)

3.16 その他

- メッセージ
 - メッセージの送信日時が、2038 年 1 月 19 日 12 時 14 分 8 秒以降記録できなくなる問題を修正しました。(I2416)

- v11.9.1 より SEND_NOTIFICATION_MAIL_WIDTH_BCC=1 の環境でメールを送信するとき、メール受信者から BCC のアドレスが見えてしまうことがあったため、表示されないようにしました。(!2476)
- パスワード再発行
 - パスワード再発行機能でメールを受け取るとき、英語表示のときのメールが日本語になっていました。メールの言語が切り替わるようにしました。(!2455, !2462)
- マニュアル
 - 管理者用マニュアル画面に、学習記録ビューア各プラグインのマニュアルページへのリンクを追加しました。(!2419)
 - マニュアルを更新しました。(!2482)
 - やりたいことから参照できる WebClass の使い方マニュアルを追加しました。(!2487)

3.17 学習記録ビューア

- 学習記録ビューア v4.4.7 => v4.4.8
- 教職履修カルテプラグイン v2.2.5 => v2.2.6
- 修学カルテプラグイン v2.14.5 => v2.14.7
- 授業評価アンケートプラグイン v2.13.6 => v2.14.0
- シラバスプラグイン v1.7.1 => v1.8.0

具体的な変更内容は別紙「学習記録ビューア リリースノート」を参照ください。